

全国漁業信用基金協会愛媛支所

1. 県域概要(位置、気候、風土、漁業の状況等)

愛媛県は、四国の北西部に位置し、東は香川・徳島の両県、南は高知県に隣接しています。また、北は瀬戸内海をはさみ、「しまなみ海道」で結ばれた広島県、西は宇和海を隔てて大分県と向かいあっています。県内を大きく3つの地域に分け、県東部を「東予」、県中央部を「中予」、県南部を「南予」といい、東西に細長い県土のほぼ中央に位置する県都・松山市からは、飛行機で東京まで80分、大阪まで50分で行くことができるほか、空港から松山市中心部まで車で約15分、わが国最古の温泉と言われる「道後温泉」まで約25分と全国トップレベルのアクセスを誇ります。



道後温泉

気候は温暖で雨が少なく、冬季は平野部では積雪はほとんどありませんが、山間部では積雪も多く、ウインタースポーツが楽しめるなど、四季を通じて多様な気候に富んでいます。

県内には大小多くの島々が点在し、東洋の地中海と呼ばれている瀬戸内海やリアス式海岸が続く宇和海は、美しい景観を形成しています。また、中央部には西日本最高峰の石鎚山とそれに連なる山々や四国カルストが広がり、雄大な眺めとなっておりバラエティに富んだ豊かな自然に恵まれています。

漁業の特徴といたしましては、愛媛県の海岸線

の総延長は1,704kmと、全国第5位の長さを誇り、漁場は佐田岬半島を境に瀬戸内海と宇和海に大別され、さらに瀬戸内海は東部の燧(ひうち)灘と西部の伊予灘に区分されます。瀬戸内海は、魚介類の産卵や成育の場として重要な藻場・干潟に恵まれた生産性の高い海域で、小型機船底引網・機船船曳網・一本釣などの多種多様な漁船漁業が営まれています。宇和海は太平洋からの黒潮分枝流に乗って回遊するイワシやマアジの好漁場であることから、沖合では巻き網を中心とする漁船漁業が盛んに行われる一方、沿岸域では特有のリアス式海岸と冬場の水温の高さを利用したタイ・ハマチなどの魚類・真珠・真珠母貝などの養殖業が盛んで、全国屈指の生産量・生産額を誇っています。また新たに高級魚「スマ」の完全養殖に成功し年々生産量が増加しています。

漁業関係のホットな話題として、県内43漁協が合併し「愛媛県漁業協同組合」が令和2年4月に誕生しました。当支所担当理事である平井義則が代表理事組合長として愛媛の水産業を牽引しています。

最後に郷土料理、「鯛めし」をご紹介します。愛媛県には東・中予(写真左)と南予(写真右)で異なる鯛めしがあります。どちらがお好みに合うかは是非お試しください。



鯛めし(東・中予)



鯛めし(南予)

2. 愛媛支所の概要

- 住所：松山市二番町4丁目6番地2(水産会館3階)
- 電話：089-933-5126
- 担当理事：平井 義則
- 担当監事：猪野 直人
- 会員数：734会員
- 出資金残高：2,974百万円
- 保証残高：10,605百万円
- 求償権残高：10,198百万円

(令和2年3月末現在)



愛媛支所の役職員の皆さん

3. 愛媛支所の最近の重点的な取組等

回収金減少支援事業や漁船リース事業など国の各種制度を積極的に活用したことにより、近年右肩下がりであった保証残高が令和2年3月時点で緩やかになってきました。引き続き系統機関と連携して保証推進を行ってまいります。また、平成6年に

端を発したアコヤ貝の大量斃死や養殖魚の価格暴落による代位弁済が急増したことにより、多額の求償権を有しておりますが、関係機関と協力して回収に努めてまいります。



タイの出荷



真珠の浜揚げ



真珠製品